

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【岩槻中学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	<b>今年度の目標と学力向上策</b>
重点的に育成する 資質・能力	<p>【自ら問いを見だし、他者と協働して粘り強く解決・表現する力の育成】</p> <p>①事象から「問い」を立て、自ら見通しを持つ力(課題発見力) ②情報を結びつけ、協働して「粘り強く」最適解を探索する力(思考・判断力) ③根拠に基づき「論理的に表現」し、学びを振り返る力(表現力・メタ認知力) 学校課題研究のテーマにもある「教科等横断的な学習指導」の要として、この3つの柱を位置づけていく。</p>
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<p>①「学びの視覚化」と振り返りの実践 ・①「主体的な学び」の視点・②「対話的な学び」の視点・③「深い学び」の3つの視点についてピクトグラム等を用いて、本時の「学びの見通し」を示し、終末に「振り返り」の時間を確保する。☑ 【毎時間の授業】授業内・終末5分 ②「魅力ある課題」の設定と協働解決 各教科の単元計画において、地域の事象等と関連付けた「自分事となる課題」を設定し、対話的な学びを位置づける。☑ 【単元ごとの計画】単元内に1回以上</p>

ざらざら(構円)

⑤	<b>年度末評価</b>	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<p>①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)</p>
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		<p>結果提供(2月)</p>

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	<b>全国学力・学習状況調査結果の分析</b>	
特徴的な結果		<p>調査の振り返り(4月)</p>
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		<p>結果提供(7月)</p>

学力向上策の実施  
①学校全体での取組  
②単元テスト・定期テスト等の分析・活用  
③調査問題を活用した授業

④	<b>さいたま市学習状況調査結果の分析</b>	
特徴的な結果		<p>さいたま市学習状況調査(5月) &lt;小1~中3&gt;(11~12月)</p>
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		<p>①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業</p>

③	<b>中間評価</b>	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<p>調査結果分析(7月) 結果分析(管理職・学年主任等) 児童生徒の実態把握 夏期職員研修等</p>
↓		
学力向上策の 見直し		<p>中間評価(9月) 課題・策の見直し</p>

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所